放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成　　年　　月　　日　　事業所名放課後等デイサービスかしのき教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	全員個室対応である	児童の入れ替わりのタイミングで注意が必要
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	4名配置	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%	25%	教室内は対策済み	建物の性質上1回がバリアフリーになっていな
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	モニタリングとケース会議を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	自己評価アンケート実施	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	公表予定	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者評価を受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	研修計画策定	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	アセスメント実施	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	一定のアセスメントシートに基づき作成している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	ケース会議にて共有、次の支援内容の協議を行う。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	職員が交代で担当することで固定化は	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	長期休暇の課題などその児童に応じた個別の課題を決めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	基本は個別だが、児童の希望や状況によって同時間の利用者との交流も行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	児童担当の振り分けを行い、前回担当者との引継ぎを毎日行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援中の児童の様子や行った支援内容の共有は行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	業務日誌及びケース記録を整備	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6ヶ月ごとにモニタリング	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	サービス担当者会議開催時には必ず参加している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	0%	100%		学校へのアプローチが不足しており、協力までは至っていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		ケアの必要な児童が現状いない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		保育所や幼稚園との連携は出来ていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		事例が今のところないため
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%		専門機関との連携は出来ていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		交流については機会がなく、できていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		参加できる機会がない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	LINEにて保護者とつながり、情報共有を行っている	。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	支援級入級へのアドバイスや受給者証の取得をサポートしている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者の悩みごとの相談などを受け付けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		保護者会は一度開催したが課題が多く対策を検討中である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情解決窓口を掲載	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%		SNSなどでの発信は行っているが会報は出していない。
	35	個人情報に十分注意している	75%	25%	鍵付きロッカーで保管	時折子どもが書類を持ち帰ってしまう案件があり、ヒヤリハット事例となっている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	特性に合わせた伝え方の工夫をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	講演会の開催	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアル整備済み	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年2回の避難訓練実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修計画策定	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	研修は行ったが実例は無し	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		食事指導はない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット整備	